【市民・事業者の皆様へ】パブリックコメント（意見募集）用資料

第３次志布志市観光振興計画（素案）概要版

計画期間：令和 9（2027）年度 ～ 令和 18（2036）年度（10 年間） ／ 志布志市

１．なぜ今、新しい観光計画をつくるのか？（志布志市の現在地と課題）

志布志市は、うなぎ・黒牛・お茶などの「全国レベルの特産品（ふるさと納税寄附額 約 50 億円）」や、年間 1 万人を超える「スポーツ合宿」の受け入れなど、全国に誇れる強みを持っています。令和 7 年度の観光入込客数は約 115.8 万人と、コロナ禍前を超える水準まで回復しました。

しかし、データや令和 8 年度実施の「市民生活満足度調査（1,536 人回答）」から、次の「３つの大きな課題」が浮き彫りになりました。

課題の柱	具体的な現状（データや市民の声から見えた課題）
①「点」の散在（立ち寄らず通過する）	・買い物や食事だけで帰ってしまい、志布志麓やダグリ岬、陣岳などの名所へ足を延ばす「まち歩き・周遊」に繋がっていません。 ・市民アンケートでも「買い物の場」「飲食店・レジャー施設」「子どもの遊び場」への不満が目立ち、「観光客が立ち寄りたい場所の不足」と「市民の日常の楽しみ・憩いの場の不足」が同じ課題であることが分かりました。
②「価値」の未体験（見る・食べるだけ）	・全国トップクラスの食材や歴史（志布志麓）、豊かな自然がありながら、生産者の想いや歴史の物語に触れる「ここだけの特別な体験」が不足しています。 ・特に、せっかく訪れた人が市内で最高の食材を味わう「食べる環境（飲食店の魅力・受入体制）」の強化が急務です。
③「稼ぐ仕組み」の不在（市外への宿泊流出）	・志布志市を訪れた宿泊客のうち、約半数が近隣市町など「市外」に泊まっており、夕食や夜の飲食などの大きな経済効果を逃しています。 ・また、10 代の若者（定住意向 32.1%）や転入者の定着率が低く、外から稼いだお金を地域の仕事づくりや暮らしの魅力向上へ還元する仕組みが必要です。

2．目指す姿（基本理念）と「入口」から「ファンづくり」への流れ

【基本理念】「物産」を入口に、「感動体験」でファンを創造するまち

～ 食を軸としたストーリーで繋ぐ、持続可能な観光・交流都市 志布志 ～

①【入口をつくる（特産品振興）】

ふるさと納税や特産品（モノ）で全国の人に志布志市を知ってもらい、興味を持ってもらいます。

②【深める・ファンにする（観光振興）】

志布志を訪れた人に、美味しい「食」や歴史、自然、市民の温かいおもてなしによる「感動体験（コト）」を届け、何度も訪れたくなるファン（リピーター・応援団）を増やします。

③【市民の暮らしも豊かにする】

観光客も市民（特に子育て世代や若者）も日常的に楽しめる遊び場・飲食店・交流の場をつくり、「住み続けたいまちづくり」へと繋げます。

3．計画を引っ張る「６つの重点プロジェクト（エンジン）」

あれもこれもと手を広げるのではなく、まずは以下の「６つの重点プロジェクト」に力を集中し、市民・事業者の皆様と対話しながら着実に進めます。

６つの重点プロジェクト	解決する課題	具体的に取り組むこと（市民・事業者の皆様と進める内容）
① ダグリ岬ベイサイドパーク プロジェクト	点の散在 遊び場の不足	絶景を活かし、ダグリ岬エリアと遊園地をリニューアル・魅力化します。市外から家族連れや若者を呼び込むとともに、市民が休日に楽しく過ごせる憩いの拠点をつくります。
② 歴まち（志布志麓） 魅力向上プロジェクト	価値の未体験	日本遺産「志布志麓」をただ見るだけでなく、市民ガイドによるわかりやすい案内や、古民家での食事・宿泊体験など、歴史を肌で感じる特別な体験へと磨き上げます。
③ スポーツ合宿誘致・推進 プロジェクト	稼ぐ仕組み	年間１万人超が訪れるスポーツ合宿の強みを活かし、合宿生が市内の飲食店やお店を利用しやすい仕組みや、地元学生・市民との交流をつくり、地域の売上へ繋げます。
④「港と歴史の回廊」 周遊ルート創出プロジェクト	点の散在 稼ぐ仕組み	「志布志港」から「市街地（駅周辺・商店街）」「志布志麓」や身近な名所（陣岳など）までを、わかりやすい案内看板（30 基設置予定）やマップで結び、まち歩きと夜の飲食（スナック等のナイトタイム消費）を促します。

⑤ 観光関連事業者の経営力向上支援プロジェクト	**稼ぐ仕組み 飲食環境の強化**	市内の飲食店・宿泊・土産店などが「稼ぐ力」を高められるよう、新メニュー開発やキャッシュレス決済、情報発信などを専門家がサポートします。特に「志布志の食材を美味しく食べられるお店づくり」を応援します。
⑥ ふるさと納税×観光連携プロジェクト	**すべての課題**	全国からの寄附者に「志布志に行ってみたい」と思ってもらうため、宿泊・食事・体験の返礼品を充実させます。また、「しぶしファンサイト」を通じて寄附者と繋がり続け、実際の来訪やリピートへ導きます。

４．５つの基本方針と「オール志布志」での進め方

● 基本方針１【志布志らしさを活かした魅力創造】

食の体験プログラム開発、ダグリ岬（陣岳含む）地区・志布志麓地区・志布志港地区等の魅力磨き上げ、SNS 等でのわかりやすい情報発信

● 基本方針２【交流人口の拡大と関係人口の創出】

広域連携（さんふらわあ等）や合宿・企業研修の誘致、ファンづくりによる移住・定住への橋渡し

● 基本方針３【食を通じた地域経済の活性化】

志布志ブランド商品の開発、通販・首都圏・海外への販路拡大、市内飲食店・事業者の売上アップ支援

● 基本方針４【持続可能な地域社会の実現】

自然環境や伝統文化・祭りの継承、市民ガイドや「まちかど案内所」など市民が主役となるおもてなし、観光人材の育成

● 基本方針５【協働による計画推進】

令和９年４月から、事業者・商工会・観光特産品協会・市民団体・行政が集まる実行組織「志布志市観光振興推進協議会」を立ち上げます。具体的な事業シート（目標や役割）をオープンに共有し、現場の声を聴きながら一緒に取り組みを進めます。

5．10 年後（令和 18 年度）に向けた数値目標

目標項目	現状値 （令和 7 年度）	中間目標 （令和 13 年度）	最終目標 （令和 18 年度・10 年後）
観光入込客数（訪れる人の数）	約 115.8 万人	132 万人	**150 万人（現状より＋約 34.2 万人）**
観光客 1 人あたりの消費額	3,780 円	4,240 円	**4,680 円（滞在時間延長・宿泊増）**
市内の観光消費額（全体の売上）	約 43.8 億円	56.0 億円	**70.2 億円（現状の約 1.6 倍）**
地域への経済波及効果（試算）	基準（0）	＋ 21.9 億円	**＋ 47.5 億円** **（市税押上効果：約 7,100 万円）**
志布志ファン（関係人口・会員等）	—	段階的に拡大	**5 万人** **（継続的に応援してくれるファン）**